

3年8組 新美 友基

3年生の2学期。この4ヶ月を振り返ってみると、合唱コンクールや飯森祭など、すべての行事に対して、『最後の』という言葉が付け加えられました。その行事を無事に終えた後には、やりきったぞという「充実感や達成感」を味わうと同時に、これで終わってしまうんだなあという「寂しさ」のようなものも感じました。

また、僕は2年生の初めから、生徒会役員として様々な活動にたずさわってきました。その活動の中でも、特に3年生になると今までよりも、3年生として「もっとみんなの役に立ちたい」「乙中の良き伝統を後輩たちに伝え、残していきたい」と強く思うようになりました。そんな思いですべての活動をやり遂げることができました。僕にとって、『自分を成長させることができた』時間だったと感じています。

さて、僕たち3年生には今、人生で最初の「自分の行きたい道へ進むことができる」大きなチャンスが与えられています。しかし、ミスをしたり、勉強に全力で励んだりしなければ、そのチャンスはむしろピンチへと変わってしまいます。また、今までの人生で初めて感じているものもあります。それは、「受験へのプレッシャー」です。3年生になっても1学期の頃は心のどこかに甘えがあり、「まだいいかな」という気持ちがありました。しかし、夏休みが終わり2学期に入ると、受験の足音がどんどん近づいてくるようになり、心の中から余裕というものは完全に消えました。受験へのプレッシャーは人によってもちろん違います。「常に見られているというプレッシャー」や「結果を残さなければならないプレッシャー」など様々です。そうすると心も次第に落ち着かなくなります。でも、強く意識して心を落ち着かせ、自分を見失わないようにここまで頑張ってきたのは、僕たちがそれぞれに目指す進路が『自分次第で掴める夢』だからです。先生方が、教室や通信などであらゆる情報を与えてくださいます。そのおかげで自分にあった進路を考えることができ、その希望を叶えるために自分が成し遂げなければならないことを明確にすることができます。だからこそ、僕たちはこのプレッシャーに絶対に勝たなければなりません。受験まであと少しです。厳しい冬を乗り越え、良い春を迎えられるよう、このまま頑張り続けたいと思います。

そして最後になりますが、僕たち3年生はあと2ヶ月半で卒業します。その間、全員で前を向き、この一度しかない中学校生活が最高だったと胸を張って言えるように一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。